

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大阪工業大学

2025 年 10 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会規定 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・大阪工業大学遺伝子組換え実験等安全管理規定
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」と文科省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」）に則って学内規定を適切に定めている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会規定 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会名簿 ・動物実験管理体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会を設置し、飼養保管基準および基本指針に則り適正に運営している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会規定 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・動物実験計画申請書（新規・再提出） ・動物実験変更計画申請書 ・動物実験実施中間報告書 ・動物実験終了報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制を適正に定めている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学遺伝子組換え実験等安全管理規定 ・大阪工業大学遺伝子組換え実験実施要領 ・遺伝子組換え実験従事者登録申請書 ・遺伝子組換え実験等安全委員委員会名簿 ・遺伝子組換え実験計画（新規・変更）申請書 ・遺伝子組換え生物等の譲渡に関する調書 ・遺伝子組換え実験経過報告書 ・遺伝子組換え生物等の譲渡・提供・委託に関する情報提供書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 遺伝子組換え実験計画の立案・審査・承認・結果報告の実施体制を適正に定めている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験に関する規定制定時の資料（写） ・ 大阪工業大学動物実験に関する規定 ・ 大阪工業大学飼養保管施設動物飼育管理マニュアル ・ 飼養保管施設における緊急時対応マニュアル ・ 動物管理ラベル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2022 年 7 月より「大阪工業大学飼養保管施設動物飼育管理マニュアル」および「飼養保管施設における緊急時対応マニュアル」を策定し、マニュアルに沿った運用を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 登録申請書および一覧表により限定的な利用者管理を実施している。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当なし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会名簿 ・ライフサイエンス実験申請書等の受付期間記載資料（開催日程等） ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会議事日程（Web 審議）＜第 1～9 回＞ ※迅速・追加審議含む ・委員会審議内容（Google Classroom コメント記録）※迅速・追加審議含む ・ライフサイエンス実験倫理委員会審査結果報告書（学長答申資料）※迅速・追加審議含む ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会規定 ・大阪工業大学動物実験に関する規定
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の各規定に基づき、適正な委員会活動を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会議事日程（Web 審議）＜第 1～9 回＞ ※迅速・追加審議含む ・委員会審議内容（Google Classroom コメント記録）※迅速審議含む ・ライフサイエンス実験倫理委員会審査結果報告書（学長答申資料）※迅速・追加審議含む ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会規定 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・動物実験計画申請書（新規・再提出）

・動物実験変更計画申請書 ・動物実験報告書（中間・終了）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、終了報告を適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学遺伝子組換え実験等安全管理規定 ・大阪工業大学遺伝子組換え実験実施要領 ・遺伝子組換え実験計画（新規・変更）申請書 ・遺伝子組換え生物等の譲渡に関する調書 ・遺伝子組換え実験経過報告書 ・遺伝子組換え生物等の譲渡・提供・委託に関する情報提供書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験計画書の立案、審査、承認、終了報告を適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・大阪工業大学飼養保管施設動物飼育管理マニュアル ・飼養保管施設における緊急時対応マニュアル ・動物管理ラベル ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2022 年 7 月より「大阪工業大学飼養保管施設動物飼育管理マニュアル」および「飼養保管施設における緊急時対応マニュアル」を策定し、マニュアルに沿った運用を開始している。
4) 改善の方針、達成予定時期 2022 年度以降、適正な飼養保管管理体制を構築し、登録申請書および一覧表により限定的な利用者管理を実施している。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・大阪工業大学飼養保管施設動物飼育管理マニュアル ・飼養保管施設における緊急時対応マニュアル ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2） ・実験動物飼育ケージ洗浄月報（2024 年 9 月～2025 年 8 月）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2022 年 7 月より「大阪工業大学飼養保管施設動物飼育管理マニュアル」および「飼養保管施設における緊急時対応マニュアル」を策定し、マニュアルに沿った運用を開始している。
4) 改善の方針、達成予定時期 2022 年度以降、適正な飼養保管管理体制を構築し、登録申請書および一覧表により限定的な利用者管理を実施している。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・2024 年度 動物実験教育訓練の開催について ・2024 年度 動物実験教育訓練 設問および回答 ・2024 動物実験教育訓練出席状況 <動物実験教育訓練開催状況> 公益社団法人日本実験動物学会 URL: https://www.jalas.jp/ オンデマンド配信 (2025 年 5 月～6 月) 48 名受講
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験実施者、実験動物管理者に対する教育訓練を適正に実施している
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・本書 (動物実験に関する自己点検・評価報告書) ・2024 年度動物実験教育訓練実施状況 ・大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会規定 ・大阪工業大学動物実験に関する規定 ・大阪工業大学遺伝子組換え実験等安全管理規定 ・大阪工業大学遺伝子組換え実験実施要領
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・本書および関連規定等を大阪工業大学ホームページに掲載し、情報公開を行っている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1) 大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会の構成 (2024 年度)

大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会規定 第 3 条選出委員

イ号：教授 1 名 准教授 2 名 ロ号：教授 2 名、准教授 2 名

ハ号：准教授 1 名 ニ号：教授 1 名

ホ号：他大学の准教授 1 名 ヘ号：他大学の教授 1 名 准教授 1 名

2) 大阪工業大学遺伝子組換え実験等安全委員会の構成

大阪工業大学遺伝子組換え実験等安全管理規定 第 4 条選出委員

イ号：学部長（教授）1 名 ロ号：教授 2 名

ハ号：准教授 3 名 ニ号：教授 1 名

ホ号：教授 1 名 ヘ号：他大学の教授 1 名

ト号：他大学の教授 1 名 第 4 項：学部事務室長 1 名

3) 動物実験審査件数 (2024 年度)

新規申請 4 件（承認 4 件） 変更計画 6 件（承認 6 件）

中間報告 7 件（承認 7 件） 終了報告 4 件（承認 4 件）

4) 遺伝子組換え実験審査件数 (2024 年度)

新規申請 4 件（承認 4 件）

5) 年度ごと飼養・使用動物

(2025 年 3 月末現在)

マウス：年間使用数：798 匹

ラット：年間使用数：46 匹

遺伝子組換えマウス：年間使用数：612 匹

(2025 年 8 月現在)

マウス：年間飼育数：593 匹

ラット：年間飼育数：24 匹

遺伝子組換えマウス：年間飼育数：296 匹